



投資家のみなさまへ

2023年7月期 第3四半期 決算報告

2023年6月14日

株式会社 アルチザネットワークス

(銘柄コード 6778)

<https://www.artiza.co.jp/>

本日のアジェンダ

- 23/7期 第3四半期決算報告 P4 ~P11
- 23/7期 通期業績予想について P12~P14

直近の主なプレスリリース

- 23/4/12 自己株式の取得状況及び取得終了に関するお知らせ
- 23/6/ 8 業績予想の修正に関するお知らせ
- 23/6/ 8 海外子会社設立に関するお知らせ

注記

本資料に掲載されている株式会社アルチザネットワークスの現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社アルチザネットワークスの経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにも全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

23/7期 Q3 決算報告

23/7期 Q3 サマリー

■ 業績概要

- ・ 売上高は、前年同期比で減収
- ・ 利益面は売上高の減少と研究開発費等の増加に加え、前期は採算性の高い国内向け案件がQ2に集中したこともあり、前年同期比で減益

■ 事業状況

- ・ モバイルネットワークソリューション（移動体通信関連）の売上は、国内向けの販売は引き続き一定水準を確保、C2Mとの相乗効果も表れ始めたテストサービスも引き続き堅調に推移しているが、前年同期比で減収
前期にグループ化したC2M連結の売上高増加により増収
- ・ IPネットワークソリューションの売上は、新製品への移行の遅れにより、パートナー製品の拡販によるカバーを図るが大幅な減収

■ 業績予想

- ・ 2022年9月8日発表の通期連結業績予想を変更、配当予想は2023年3月9日の予想（30.00円）と変更なし

23/7期 Q3 決算ハイライト

	22/7期 Q3実績		23/7期 Q3実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,568	100.0	3,561	100.0	△6	△0.2
売上総利益	2,967	83.2	2,631	73.9	△336	△11.3
営業利益	1,446	40.5	833	23.4	△612	△42.4
経常利益	1,437	40.3	861	24.2	△576	△40.1
当期純利益	913	25.6	495	13.9	△417	△45.7
総資産	10,193	100.0	10,225	100.0	32	0.3
純資産	7,435	73.0	7,760	75.9	325	4.3

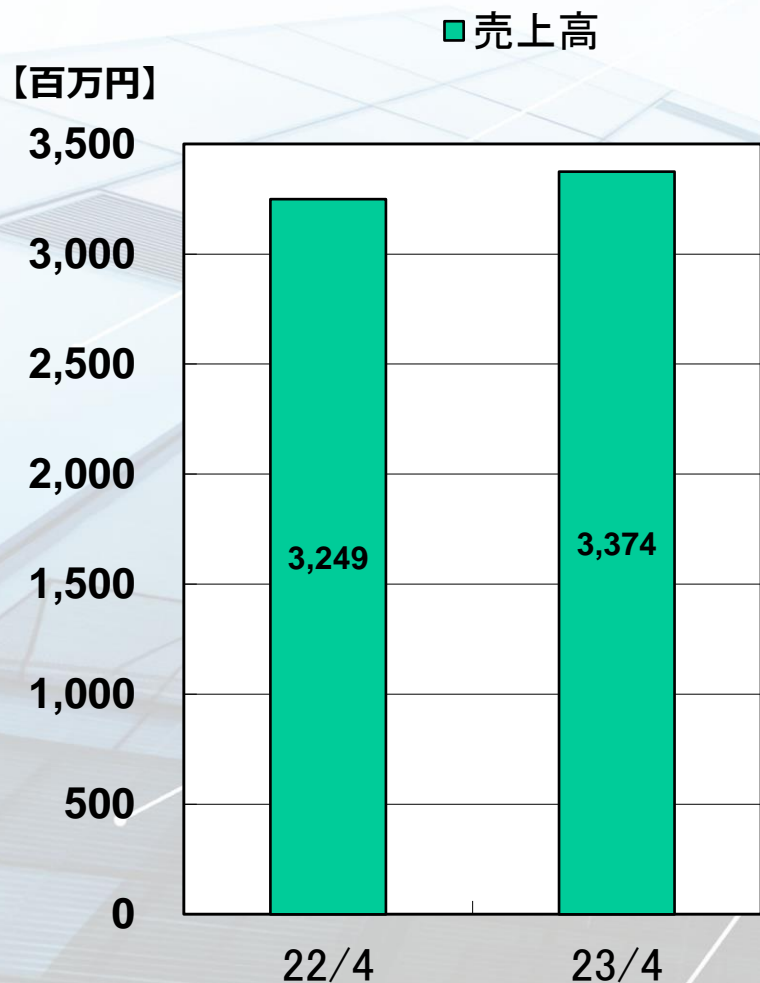
- ・ 前年同期比では減収・減益
- ・ 自己資本比率は高水準を維持し、ROEも前年同期、前期並みの水準を維持
- ・ 当期より財務諸表数値にはC2M社を連結

23/7期 Q3 セグメント別売上高実績

	22/7期 Q3実績		23/7期 Q3実績		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減率 (%)
モバイルネットワーク ソリューション	3,249	91.0	3,374	94.7	3.9
IPネットワーク ソリューション	319	9.0	187	5.3	△41.3
合計	3,568	100.0	3,561	100.0	△0.2

- ・モバイルネットワークソリューションは5G製品の国内向け販売が引き続き堅調に推移し、
- ・テストサービスもC2Mとの相乗効果もあるものの減収、前期にグループ化したC2M連結の売上高増加により増収
- ・IPネットワークソリューションは、パケットキャプチャ製品の新製品への移行に遅れが生じ、社外商材の販売でのカバーを図るものの、大幅な減収となった

23/7期 Q3 売上実績 (モバイルネットワークS)



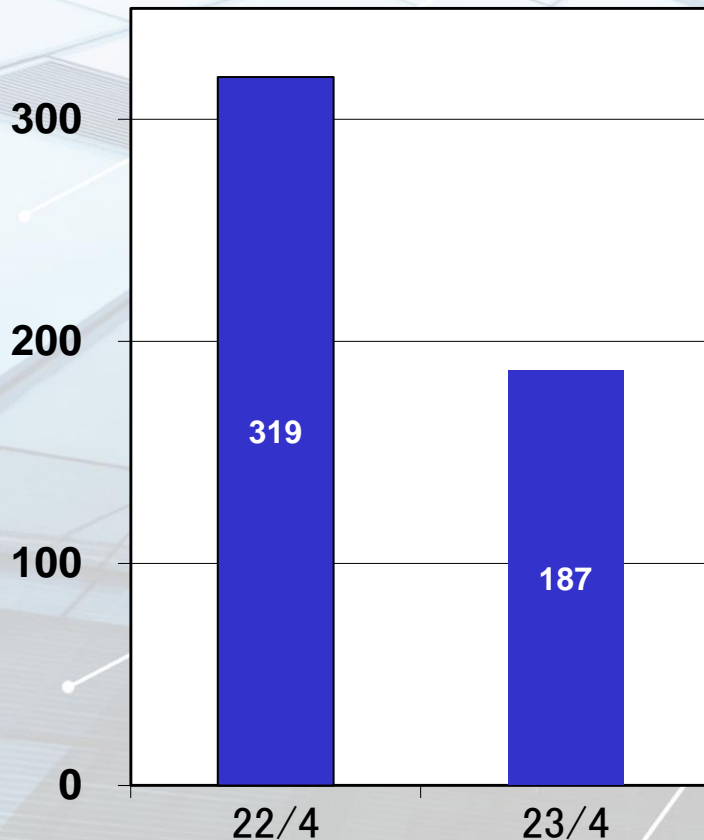
■ 前期増減額 125M
前期増減率 3.9%

- 5Gに対応するLoad Testerの国内向け販売
- 5G及び4Gに関する基地局テストサービス
- C2Mによるサービス売上の増収
- 社外商材の販売

国内の5Gに対応する基地局向けLoad Testerの販売が堅調に推移し、C2Mとの相乗効果によりテストサービスも堅調に伸長したが減収。前期にグループ化したC2M連結の売上高増加により増収

23/7期 Q3 売上実績 (IPネットワークS)

【百万円】



■ 前期増減額 △132M

前期増減率 △41.3%

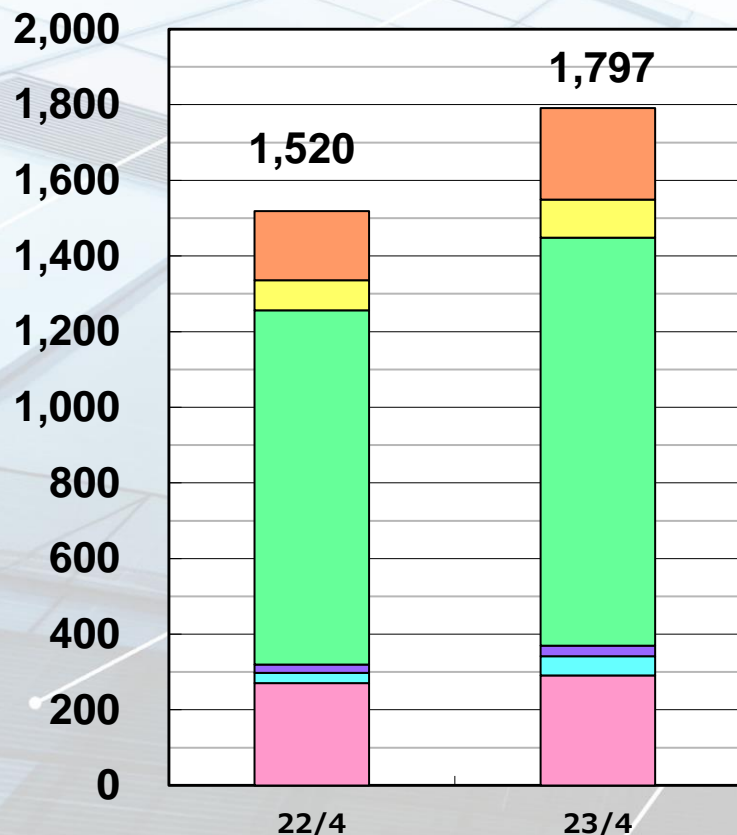
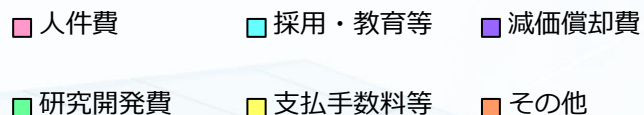
- パケットキャプチャ製品の販売
- コアネットワークテストの販売
- 各種ネットワークテストの社外製品の販売等

パケットキャプチャ製品が新製品への移行に遅延が生じ、社外商材によるカバーを図るものの、IPネットワークセグメント全体では大幅な減収となった

23/7期 Q3 顧客別売上高実績

	22/7期		23/7期			
	Q3 実績		Q3 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
NTT G	2,215	62.1	2,150	60.4	△ 65	△ 3.0
富士通 G	247	6.9	759	21.3	512	67.5
NEC G	786	22.0	195	5.5	△ 591	△ 303.1
KDDI G	5	0.1	49	1.4	44	89.8
ノキア G	124	3.5	50	1.4	△ 74	△ 148.0
その他	187	5.2	356	10	169	47.5
合計	3,565	100.0	3,561	100.0	△ 4	△ 0.2

23/7期 Q3 販管費の状況



【百万円】

	22/7期 Q3実績	23/7期 Q3実績	
	百万円	百万円	増減率 (%)
販売管理費計	1,520	1,797	18.2
人件費	271	291	7.5
採用・教育費等	27	51	90.8
減価償却費	22	28	27.4
研究開発費	936	1,078	15.2
支払手数料等	80	101	27.0
その他	183	245	33.9

- ・ 5G関連の研究開発は堅調な国内販売を背景に継続
 - ・ SmartNIC開発、海外向け開発等の次期以降の売上拡大に向けた研究開発投資を並行実施
 - ・ 海外向けPoC等の販促活動への先行投資
 - ・ 広告宣伝費、人材関連費用は一定水準で継続
- 以上の結果、販管費は前年同期より277Mの増加となった

23/7期 通期業績予想について

23/7期 通期計画（6/8修正）

	23/7期 (9/8)	23/7期 (3/9修正)	23/7期 (6/8修正)			
	通期計画 (百万円)	通期計画 (百万円)	通期計画 (百万円)	計画増減 (百万円)	Q3実績 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	5,230	5,230	4,707	△ 523	3,561	68.1
営業利益	1,461	1,461	1,010	△ 451	833	57.0
経常利益	1,447	1,447	1,020	△ 427	861	59.5
当期純利益	1,075	1,075	667	△ 408	495	46.0
1株当たり配当	20.00円	30.00円	30.00円	—		

- ・売上高はテストサービスにC2Mが加わり不調のIPネットワークをカバーしたものの、当初の通期予想を下回る見通し。第4四半期も海外向け販売が当初の予定より伸び悩み、国内向けも顧客における新年度の研究開発投資が不透明であることから通期計画より減収
- ・利益面は引き続き国内向けの5G関連製品の販売で高い採算性を確保してはいるものの、売上高減少に伴う減益、5Gに対応する研究開発費の増加等により通期計画より減益
- ・配当予想については3/9通期計画の30.00円と変更なし

23/7期 Q3 セグメント別売上計画（6/8修正）

	23/7期 (9/8)	23/7期 (6/8修正)			
	通期計画 (百万円)	通期計画 (百万円)	計画増減 (百万円)	Q3実績 (百万円)	進捗率 (%)
モバイルネットワーク ソリューション	4,630	4,399	△231	3,374	76.6
IPネットワーク ソリューション	600	308	△292	187	60.7
合計	5,230	4,707	-	3,561	75.6

- ・モバイルネットワークSは、通期計画に対して76.6%の進捗率
引き続き5G関連の国内向け販売及びテストサービスが堅調に推移する見通しで増額
- ・IPネットワークSは、通期計画に対して60.7%の進捗率
社外商材によるカバーを図るものの、パケットキャプチャ製品が新製品への移行に遅延が生じ、顧客の年度を越える4月以降の苦戦が予想されるため減額

IRに関するお問合せ

管理統括本部 管理本部 総務人事部

E-mail: ir@artiza.co.jp

ダイヤルイン: 042-527-3010